

# 名家連ニュース

令和元年9月30日(月)  
発行：特定非営利活動法人  
名古屋市精神障害者家族会連合会  
会長 堀田 明  
TEL/FAX(052)846-5576 NO.650号



## 第5回 家族SST講座の概要

～「家族の想い」と「当事者の想い」～



9月28日(土)の家族SST講座は、家族の参加者8名と吉田先生、林さん(PSW)、中村さん(PSW)を含め、11名でした。今回の講座で話題になったテーマは、

- ① 服薬を拒む当事者とどう向き合ったらいいのか
- ② 家族の「こうなって欲しい」という想いと、当事者の「こうなりたい」という想い

でした。特に異性当事者間の思いについて、家族としての関わり方の難しさが話題となりました。



### 年内の家族SST講座の予定(一部変更あり)

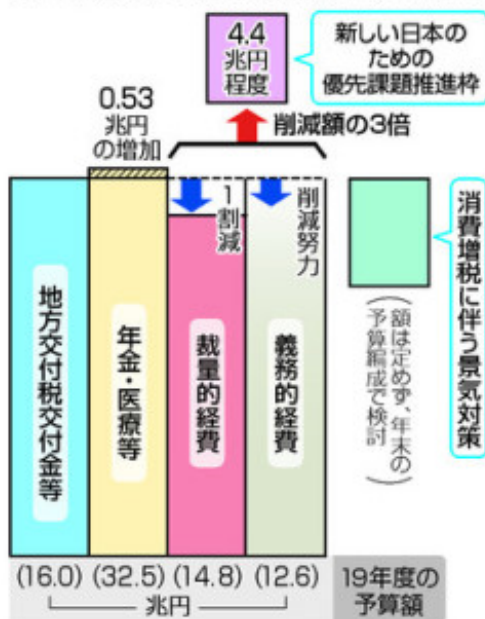
10月12日(土) 10:30～12:30(時間変更)

11月30日(土) 10:30～12:30(日時及び時間変更)

12月21日(土) 13:30～15:30

### 令和2年度予算「概算要求基準」を閣議決定

#### 来年度予算の概算要求基準の枠組み



政府は臨時閣議で、令和2年度の予算編成で各省庁が要求する際のルールとなる概算要求基準を了解しました。

各省庁は概算要求基準に基づき要求内容を精査して8月末までに概算要求を財務省に提出した。

#### 「概算要求基準は何をもたらすのか」

- ① 年金などの社会保障費は、令和元年度予算(32兆5,000億円)に、高齢化に伴う自然増5,300億円の範囲内に収める。
- ② ①との関連で医療保険・介護保険等の利用者負担の増大が見込まれている。※75歳以上医療費2割負担、介護サービス利用2割負担、年金支給開始年齢引上げ等が検討。既に首相官邸に「全世代型社会保障検討会議」が設置された。
- ③ 要求総額の上限は7年連続で定めず、歳出圧力が一段と強まってくる。
- ④ 要求総額は6年連続で100兆円を超える見通しとなる。

## ❖ 厚生労働省 令和2年度予算「概算要求」の主な内容 ❖

厚生労働省が令和2年度予算の概算要求を取りまとめました。要求額は32兆6,234億円。令和元年度予算額(31兆9,641億円)から2.1%(6,593億円)の増額となっています。令和2年度概算要求は、

- ① 多様な就労社・社会参加の促進
- ② 健康寿命延伸等に向けた保健・医療・介護の充実
- ③ 安全・安心な暮らしの確保等



という三つの枠組みのもと、「誰もがより長く元気に活躍でき、安心して暮らすことができる社会保障の基盤強化を目指す」としています。その中で障害福祉関係の要求項目の概要を令和元年度予算額との比較で整理しました。※( )内は令和元年度の予算額

- ◎ 福祉分野における生産性向上の推進 33億円(10億円)
  - うち、障害福祉分野における生産性向上の推進 5.9億円(1,500万円)
- ◎ 障害者への就労支援の促進 177億円(173億円)
  - ① 公務部門における障害者の雇用促進・定着支援の強化 5.1億円(3.4億円)
  - ② 中小企業をはじめとした障害者の雇入れ支援等の強化 135億円(135億円)
  - ③ 精神障害者、発達障害者、難病患者等の多様な障害特性に対応した就労支援の強化 37億円(34億円)
- ◎ 地域移行・地域定着支援などの精神障害者施策の推進 223億円(214億円)
- ◎ 福祉・介護人材確保対策等の推進 363億円(346億円)
- ◎ 障害者への就労支援の推進 189億円(183億円)
  - ① 中小企業をはじめとした障害者の雇入れ支援等の強化 135億円(135億円)
  - ② 精神障害者、発達障害者、難病患者等の多様な障害特性に対応した就労支援の強化 37億円(34億円)
  - ③ 就労支援事業所等で働く障害者への支援 12億円(11億円)
    - i 工賃向上等のための取組の推進
    - ii 障害者就業・生活支援センターによる働く障害者への生活面の支援などの推進
    - iii 工賃等向上に向けた全国的支援体制の構築
- ◎ 障害福祉サービスの確保、地域生活支援などの障害児・障害者支援の推進 2兆1,251億円(1兆9,678億円)
  - ① 良質な障害福祉サービス等の確保 1兆5,789億円(1兆4,542億円)
  - ② 地域生活支援事業等の拡充 571億円(495億円)
  - ③ 障害児・障害者への福祉サービス提供体制の基盤整備 80億円(69億円)
  - ④ 障害児・障害者への良質かつ適切な医療の提供 2,596億円(2,460億円)
  - ⑤ 障害福祉の仕事の魅力発信 1,500万円
  - ⑥ 障害福祉分野における生産性向上の推進(再掲) 5.9億円(1,500万円)
  - ⑦ 障害児支援の推進 32億円(5億円)
  - ⑧ 芸術文化活動の支援の推進 4.6億円(3億円)
  - ⑨ 視覚障害者等の読書環境の向上 5.3億円(3.8億円)
  - ⑩ アルコール健康障害対策の推進 1,700万円(1,700万円)
  - ⑪ 教育と福祉の連携の推進 900万円(300万円)

